

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	2021ジャパンパラ 陸上競技大会	令和3年4月24日(土)、25日(日)に屋島レクザムフィールドで大会を開催し、障がい者スポーツの推進に取り組むとともに、子ども達への心のバリアフリー醸成や共生社会の実現に努めます。	3.4,10,17	決算額: 3,689千円 予算額: - 千円			—	実施予定なし	影響なし	未定	継続	スポーツ振興課
2	観光客受入環境 整備事業	観光客等の満足度向上を図るため、無線LAN等の環境整備や観光案内板を整備して情報提供を行うほか、産学官が連携して外国人観光客の受入環境の整備事業に取り組む。	8,14,15,17	決算額: 4,854千円 予算額: 4,626千円	市内の主な観光施設等利用者数	平成25年度 6,315千人 平成26年度 6,509千人 平成27年度 6,655千人 平成28年度 6,934千人 平成29年度 6,816千人 平成30年度 6,595千人 令和元年度 6,759千人 令和2年度 3,946千人 令和3年度 3,726千人	94.4%	令和4年度も引き続き、フリーWi-Fiである「かがわWi-Fi高松」を中心市街地に面的に整備し、運用保守を行うほか、令和3年度に「高松外国人観光客お助け隊」が作成した指差しシートや高松駅から高松港への道案内動画を、本市観光サイト「エクスベリエンス高松」に掲載して、市民・観光客の間での活用を図った。	「高松外国人観光客お助け隊」については、外国人観光客が激減した影響を受けて活動の場が縮小したことにより、令和3年度をもって活動を取りやめた。	引き続き、フリーWi-Fiである「かがわWi-Fi高松」を中心市街地に面的に整備し、運用保守を行う。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
3	魅力にあふれ、 人が輝く創造都市 推進事業	本市の創造都市の取組に関して、審議会・懇談会を開催し、御意見をいただくとともに、創造都市ネットワーク日本に参加し、参加都市間の交流を図ることにより、本市の創造性を高める。	11.17	決算額： 602千円 予算額： 1,244千円	「高松市創造都市推進局フェイスブックページ」いいね！の数	平成26年度 2,726 平成27年度 3,555 平成28年度 4,138 平成29年度 4,388 平成30年度 4,585 令和元年度 4,950 令和2年度 5,049 令和3年度 5,070	100.4%	高松市創造都市推進審議会や高松市創造都市推進懇談会(U40)において、本市の活性化に資する御意見をいただきつつ、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の事業に参加し、他都市の事例等について、積極的に情報交換を行う。	審議会及び懇談会(U40)については、新型コロナウイルス感染拡大期においては、非対面型によるWEB会議での開催及び出席を原則とする。 創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の事業の参加方法については、現地開催とオンライン開催を併用していることから、新型コロナウイルス感染拡大状況も注視しつつ、参加方法をその都度、検討する。	引き続き、高松市創造都市推進審議会や高松市創造都市推進懇談会(U40)において、本市の活性化に資する御意見をいただきつつ、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の事業に参加し、他都市の事例等について、積極的に情報交換を行う。	継続	産業振興課
4	専門職短期大学 設置支援事業	地域の活性化を担う人材の輩出や、若者の県外流出の抑制等を図るため、高松市公共施設再編整備計画(1次)案において、有識者等の意見を反映した総合評価で「2022年度末までに売却を含めた廃止を検討することとされていた高松テルサの跡施設を有効活用し、学校法人穴吹学園が構想する「専門職短期大学」の設置を支援します。	4.8.17	決算額：4,904千円 予算額：0千円	専門職短期大学 入学手続完了者 数	令和3年度12人	—	高松テルサ跡施設について、引き続き、学校法人穴吹学園に貸付する。	影響なし	高松テルサ跡施設について、引き続き、学校法人穴吹学園に貸付する。	継続	産業振興課
5	創造支援センター 運営事業	本市における特色ある事業の創出及び地域産業の振興に寄与するため、四番丁スクエア内に、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の活動拠点としてのインキュベーター施設(全6部屋)を設置・運営している。	9	決算額：289千円 予算額：382千円			—	継続して事業を実施する。	影響なし	継続して事業を実施する。	継続	産業振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向性	主管課 (関係部署)
6	グリーン・ツーリズム推進事業	市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	8,9,11,15	決算額:175千円 予算額: 0千円				市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めた上で、各種取組を実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めた上で、各種取組を実施する。	継続	農林水産課
7	ため池景観整備維持管理事業	ため池景観整備事業等で実施した施設、樹木等の維持管理に関する協定を締結した法人または市長が認める団体に対して補助金を交付し、当該施設等の適正な維持管理を図る。	6,9,15	決算額:9,932千円 予算額:9,932千円	地区数/補助金	平成25年度 17地区/ 7,697,300円 平成26年度 17地区/ 7,819,500円 平成27年度 17地区/ 8,269,600円 平成28年度 17地区/ 8,135,800円 平成29年度 16地区/ 7,940,600円 平成30年度 16地区/ 8,252,500円 令和元年度 16地区/ 8,494,600円 令和2年度 16地区/ 9,662,600円 令和3年度 16地区/ 9,931,900円	102.8%	引き続き、事業実施に係る支援を行い、当該施設等の適正な維持管理を図る。	活動団体ごとに感染防止に留意しながら取り組んでいる。	引き続き、事業実施に係る支援を行い、当該施設等の適正な維持管理を図る。	継続	土地改良課
8	高松城跡(玉藻公園)をいかした観光振興事業	重要文化財の指定を受けた被雲閣を中心とし、高松城跡(玉藻公園)の観光拠点としての知名度向上及び観光客の増加を図るため、バーチャル高松城の活用や和船体験事業等の事業を行うとともに庭園のライトアップ等、ナイト観光を充実させるイベントを実施。	8,14,15,17	決算額:4,159千円 予算額:4,659千円	入園者数	平成25年度玉藻公園入園者数 178,776人 平成26年度玉藻公園入園者数 194,026人 平成27年度玉藻公園入園者数 238,146人 平成28年度玉藻公園入園者数 218,264人 平成29年度玉藻公園入園者数 228,385人 平成30年度玉藻公園入園者数 202,161人 令和元年度玉藻公園入園者数 229,439人 令和2年度玉藻公園入園者数 82,966人 令和3年度玉藻公園入園者数 79,634人	96.0%	バーチャル高松城や和船体験事業の実施を始め、MICEユニークベニューやエクスカーションの活用の働きかけを行うとともに、「讃岐ReMIXプロジェクト」においては、瀬戸内国際芸術祭会期中に、地元職人とアーティストのコラボレーションによる創作品を展示・体験するイベントを実施し、海外市場の開拓のため、1月以降に同プロジェクトの作品を試験販売する。	新型コロナウイルスの感染防止対策を実施しながらイベント等を開催した。	バーチャル高松城や和船体験事業の実施を始め、MICEユニークベニューやエクスカーションの活用働きかけを行うとともに、「讃岐ReMIXプロジェクト」においては、創作品を展示・体験するイベント等の実施によって、夜型観光や文化観光を推進するとともに、同プロジェクトのプランニング及び自動化を図る。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
9	屋島山上拠点施設整備事業	屋島の多様な特性・価値を深く知るための機会を提供し、より多くの人に愛着を持ってもらうため、屋島山上に誰もが気軽に立ち寄り、屋島の歴史、文化、自然環境等について学び、交流することができる拠点施設を整備します。	8	決算額: 831,336千円 予算額: 201,693千円	屋島入込客数	平成26年度 511,577人 平成27年度 504,399人 平成28年度 506,682人 平成29年度 498,696人 平成30年度 494,984人 令和元年度 531,485人 令和2年度 336,510人 令和3年度 375,232人	111.5%	屋島山上交流拠点施設の工事を完了させるとともに、屋島の活性化が図られるよう、オープン前から指定管理者と十分に連携を図り、オープン初年度の施設運営を行っている。	工事現場等における新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら、建設工事を着実に進め、しゅん工まで進めた。また、施設の管理運営について、コロナウイルス感染症対策を万全に行えるよう、指定管理者と事前に協議し、安全な施設運営に努めている。	引き続き、指定管理者等と連携し、屋島山上交流拠点施設の魅力や価値を最大限に発揮できるよう、施設の利活用と適切な施設の維持管理を行う。	完了	観光交流課
10	屋島活性化推進事業	屋島の活性化に向け、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しつつ、市民を始め、屋島を訪れる人々に広く知ってもらうため、「屋島活性化基本構想」に基づく事業を実施し、屋島を世界に誇れる本市のシンボルとして再生します。 この事業の一つとして、令和4年8月5日に、山上を訪れる人々に屋島を知ってもらうため、人が集まり、学び、楽しみ、交流できる拠点となる屋島山上拠点施設の供用を開始しました。 また、屋島山上へのアクセス道路の無料化・市道化により、屋島に気軽に訪れることのできる環境づくりが図られていることから、より一層屋島山上への誘客を推進していきます。 さらに、屋嶋城跡城門遺構を整備するとともに平成28年3月に一般公開を開始し、屋島の歴史の掘りおこし情報発信を行っています。 平成29年に完成した屋島レクサムフィールドについては、四国大会等の陸上競技大会が開催可能であり、棒高跳の公認競技が可能な室内競技場を全国で初めて併設しています。	8	決算額: 908,814千円 予算額: 258,570千円(屋島山上拠点施設整備、屋島山上ライブイベント～天空ミュージック～、むれ源平石あかりロードに係る費用を含む。)	屋島入込客数	平成26年度 511,577人 平成27年度 504,399人 平成28年度 506,682人 平成29年度 498,696人 平成30年度 494,984人 令和元年度 531,485人 令和2年度 336,510人 令和3年度 375,232人	111.5%	源平屋島地域運営協議会において、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努める。また、バス運行事業者による屋島山上シャトルバス運行事業への補助や屋島観光パンフレットの作製を行い、源平屋島地域への観光客の誘致を図るとともに、屋島周辺の観光施設への周遊を促す取組を行いながら、屋島に対する関心を広く醸成する。	感染拡大防止対策を十分に講じたイベントの開催方法を検討しながら、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたシャトルバス運行事業等についても対応を検討した。	源平屋島地域運営協議会において、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝するとともに、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努めながら、今後の源平屋島の活性化に適した協議会体制についても検討を進める。また、屋島山上シャトルバス運行事業への補助や屋島観光パンフレット等により、周辺の観光施設への周遊を促す取組を行いながら、屋島地域への観光客の誘致を図るとともに、関係機関と連携しながら屋島への観光客の受入環境整備を行うことで、来客促進を目指す。	継続	観光交流課
11	屋島山上ライブイベント～天空ミュージック～	「食」と「音楽」による屋島山上への誘客を目的とし、「屋島夕夜祭フェスタ」の開催期間中のいずれかの金・土曜日に、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブを実施する。	8	決算額: 2,380千円 予算額: 2,380千円	来場者数	平成26年度 1,450人 平成27年度 1,110人 平成28年度 1,020人 平成29年度 1,280人 平成30年度 1,100人 令和元年度 1,430人 令和2年度 中止 令和3年度 中止 令和4年度 1,330人	—	「食」による屋島山上への誘客を目的とし、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブの実施した。	新型コロナウイルスの感染防止対策を実施しながらイベント等を開催した。	「食」と「音楽」による屋島山上への誘客を目的とし、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブの実施を検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
12	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業	観光客のニーズや嗜好、競争環境の変化等に的確に対応し、地域の持つ魅力を向上させて塩江地域の活性化を図るため、塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、温泉をいかした塩江地域の観光振興に努めます。	11	決算額:322,618千円 予算額:472,034千円	塩江温泉郷観光入込客数	平成25年度 59,392人 平成26年度 64,785人 平成27年度 68,150人 平成28年度 69,039人 平成29年度 70,010人 平成30年度 65,944人 令和元年度 66,726人 令和2年度 32,852人 令和3年度 31,986人	97.4%	塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づく事業の推進を図るとともに、高松市塩江道の駅エリア整備基本計画、各設計等業務の成果に基づき、道の駅エリアの各種工事を着手していく。	塩江道の駅エリアの工事現場等における新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら、各種工事を進めている。また、今後の施設管理運営に関しても、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行えるような管理運営体制の構築に向けた検討を行った。	塩江温泉郷観光活性化基本構想・高松市塩江道の駅エリア整備基本計画、各整備設計等業務の成果に基づき、道の駅エリアの各種工事を引き続き実施するとともに、持続可能な管理運営体制の構築に向けた検討を更に進める。	継続	観光交流課
13	誘客促進事業	本市への誘客を促進するため、香川県と連携し、高松空港への直行便が就航している台北、上海、ソウル、香港及び成田を対象に観光キャンペーンなどを実施するほか、多言語対応可能な観光案内所の運営や、クルーズ客船の受入事業を行う。 また、広島市、松山市、岡山市及び本市の4市で構成する「瀬戸内4県都市長会」で観光客誘致事業を実施するとともに、(公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、国内外からの観光客の本市での滞在の促進に取り組む。	8	決算額:46,422千円 予算額:153,621千円	観光案内所利用者数(外国人)／観光関連施設等利用者数	平成25年度 -人／ 6,315千人 平成26年度 -人／ 6,509千人 平成27年度 -人／ 6,655千人 平成28年度 18,597人／ 6,934千人 平成29年度 18,313人／ 6,816千人 平成30年度 23,164人／ 6,595千人 令和元年度 22,566人／ 6,570千人 令和2年度 524人／3,946千人 令和3年度 409人／3,725千人	観光案内所利用者数(外国人)78.1%／観光関連施設等利用者数94.4%	県と連携し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で運休(一部、運休から再開)している東アジア4路線、国内線(成田線)の路線維持を図る。また、外国人観光客の利便性向上のため、常時多言語対応可能な観光案内所の運営を行うほか、クルーズ客船等の受入事業を行う。 瀬戸内4県都市長会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、自然体験やマイクロツーリズムなどの「新しい観光」スタイルが注目されているため、4市が連携し、自然、体験、食などの観光資源の魅力を発信し、4市への来訪意欲を高め、更なる誘客促進と観光消費額の増加を図る。	東アジア4路線や国内線(成田線)が運休している場合は、WEBやSNSを活用したプロモーションを実施する。 (公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて団体旅行補助については、引き続き修学旅行を中心に実施し、本市での滞在の促進に取り組む。	県と連携し、新型コロナウイルス感染症の収束状況を注視しながら、運休中を含む東アジア4路線の維持を図る。また、引き続き、国内線(成田線)の誘客活動を実施する。 さらに、外国人観光客の利便性向上のため、常時多言語対応可能な観光案内所の運営を行うほか、クルーズ客船等の受入事業を行う。 瀬戸内4県都市長会では、4市を巡る広域周遊旅行の提案や誘客促進に向けたプロモーション等を行う。 (公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、国内外からの観光客の本市での滞在の促進に取り組む。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
14	さぬき高松まつり	四国の四大祭りの一つとして、また、讃岐路の真夏の夜を彩る祭典として、市民をはじめ多くの観光客にも親しまれており、「ものっそ高松」を合言葉に、「瀬戸の都・高松」にふさわしい一大イベントとして、中央公園・中央通り・サンポート高松をメイン会場に、盛大に開催する。	8	決算額: 0千円 予算額: 52,823千円	入込客数	平成25年度 650,000人 平成26年度 620,000人 平成27年度 650,000人 平成28年度 620,000人 平成29年度 610,000人 平成30年度 580,000人 令和元年度 210,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止 令和4年度 260,000人	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた国の <b>基本的対処方針に基づく留意事項等</b> を踏まえ、第55回さぬき高松まつりは、花火大会を除き、12日から14日までの3日間、中央公園お祭り広場でのイベント及び総おどりを <b>実施した</b> 。	花火大会については、観覧者の過密が避けられず、実効性のあるコロナ対策を講じることが困難であることなどから開催中止とした。中央公園お祭り広場でのイベント及び総おどりは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた国の <b>基本的対処方針に基づく留意事項等</b> を踏まえ、感染対策を講じた上で <b>実施した</b> 。	花火大会については、サンポート地区の観覧場所が各種施設の整備に伴い大幅に縮小されるため、打上場所や打上方法等について、開催可能な方法を検討する。 また、中央公園お祭り広場でのイベント及び総踊りは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた国の <b>基本的対処方針に基づく留意事項等</b> を踏まえ開催する。	継続	観光交流課
15	高松秋のまつり・仏生山大名行列	高松の四季を表すまつりの一つとして、市民をはじめ、多くの観光客にも親しまれるまつりを目指すとともに、中心会場となる高松南部地域の活性化に寄与する。	8	決算額: 0千円 予算額: 9,071千円	入込客数	平成25年度 130,000人 平成26年度 150,000人 平成27年度 145,000人 平成28年度 145,000人 平成29年度 117,000人 平成30年度 155,000人 令和元年度 160,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止 令和4年度 100,000人	—	新型コロナウイルスの <b>感染防止対策を講じた上で</b> 、高松市立仏生山公園や仏生山商店街を会場として、大名行列のほか、野外劇場やよろず処、黒門市等さまざまな催しを <b>実施した</b> 。	第27回高松秋のまつり・仏生山大名行列は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた国の <b>基本的対処方針に基づく留意事項等</b> を踏まえた上で <b>実施した</b> 。	地元住民等を中心に構成される高松秋のまつり大名行列推進委員会において、イベント内容の改善・検討を行う。また、実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた国の <b>基本的対処方針に基づく留意事項等</b> を踏まえ、感染防止対策を講じた上で開催する。	継続	観光交流課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向性	主管課 (関係部署)
16	高松まちかど漫遊帖	本実行委員会において、ガイドブック「高松まちかど漫遊帖」を春と秋の2回計画し、4月頃～6月頃までの期間において春編を、10月頃～12月頃までの期間において秋編を毎年開催している。	8	決算額:1,556千円 予算額:1,849千円	参加者数	【開催回数/延べコース数/延べ参加者数】 平成25年度 2回/44コース/476人 平成26年度 2回/33コース/385人 平成27年度 2回/47コース/562人 平成28年度 2回/47コース/455人 平成29年度 2回/48コース/469人 平成30年度 2回/51コース/500人 令和元年度 2回/62コース/499人 令和2年度 2回/24コース/133人 令和3年度 2回/39コース/314人	236.1%	春編と秋編の2回、インターネットやSNSと運動した、まち歩きパンフレットを作成する。また実施の際には「3密」回避の徹底や動画配信サービス等の利用により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意する。	コース催行前のアルコール消毒、検温を徹底し、発熱・体調不良の参加者に関しては、漫遊帖への参加を控えていただくようにする。万が一の場合に備え、参加者と連絡がとれるよう、参加者の名前・住所・連絡先を記録する。その他、県が定めた「感染防止策チェックリスト」の内容に準拠し、コースを催行する。	春編と秋編の2回、インターネットやSNSと運動した、まち歩きパンフレットを作成する。また、実施の際には「3密」回避の徹底や動画配信サービス等の利用により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意する。	継続	観光交流課
17	MICE振興事業	本市が有するMICE開催に必要な機能の更なる充実や有機的な連携を図ることにより、高松ならではのMICE誘致を展開するため、MICE振興戦略に基づく施策を推進する。	8,17	決算額:10,413千円 予算額:13,390千円 補正予算:29,000千円 (大臣会合負担金)	コンベンション開催件数	平成25年度 203件 平成26年度 226件 平成27年度 217件 平成28年度 214件 平成29年度 226件 平成30年度 217件 令和元年度 171件 令和2年度 24件 令和3年度 43件	179.2%	県と連携しながら、2023年日本開催予定のG7関係関係会合の本市開催を誘致し、都市大臣会合の開催が決定した。引き続き、(公財)高松観光コンベンション・ビューローや県と連携しながら、大規模MICEや政府系国際会議の誘致及び開催支援、関係機関との連携による受入態勢の強化に取り組む。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、感染症拡大防止対策助成制度及びハイブリット会議開催支援助成制度の継続等、安全・安心に高松でMICEを開催するためのMICE主催者向けの支援について検討する。	県と連携しながら、G7都市大臣会合の開催に向け、開催支援等を行うとともに、引き続き、(公財)高松観光コンベンション・ビューローや県と連携しながら、大規模MICEや政府系国際会議の誘致及び開催支援、関係機関との連携による受入態勢の強化に取り組む。	継続	観光交流課



第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
18	「気持ち高まる、高松。」シティプロモーション事業	高松を知らない層に対して、効果的な情報発信を行うことにより、本市に対するポジティブなイメージの浸透を図り、観光・MICE誘致のみならず、移住・定住促進、シビックプライド醸成などにつなげる。	8.17	決算額: 5,067千円 予算額: 5,158千円	サイト訪問件数	平成30年度 63,459件 令和元年度 159,258件 令和2年度 128,570件 令和3年度 166,374件	129.4%	瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせて、メインビジュアルに瀬戸芸作品を設定する、来場者に対してグルメ情報や滞在中のお役立ち情報、関連イベント情報等を提供する等のトップページの改修を行うとともに、屋島山上交流拠点施設やサイクリング等の本市ならではの体験型コンテンツを特集した記事を蓄積し、情報発信を行う。 併せて、引き続き、「気持ち高まる、高松。」インスタグラムを活用し、魅力的な画像の拡散を図る。	影響なし	アート、島旅、グルメなど本市ならではの体験型コンテンツを特集した記事を蓄積するとともに、モデルコースを作成し、高松に初めて訪れる人にもリピーターにも役立つ、高松の旅をより味わえる情報を発信する。併せて、引き続き、拡散力の高いInstagramを活用し、魅力的な画像や映像の拡散を図る。	継続	観光交流課
19	瀬戸内国際芸術祭2022	文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興を、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けて、香川県・関係市町及び福武財団などとともに開催する瀬戸内国際芸術祭を推進していきます。 今後も市独自の関連事業を積極的に実施し、内陸部への観光客の誘客も図り、本市の活性化につなげていきます。	4.8.17	決算額: 49,874千円 予算額: 99,482千円	トータル来場者/ 外国人の割合(アンケート調査)/ 経済波及効果	2010年 938,246人/ 1.1%/ 一億円 2013年 1,070,368人/ 2.6%/ 132億円 2016年 1,040,050人/ 13.4%/ 139億円 2019年 1,178,484人/ 23.6%/ 180億円 2022年 723,316人	—	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、女木島、男木島、大島、高松港を高松市の会場として瀬戸内国際芸術祭2022を開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外作家の来日や、県外の作家が高松市で作品制作することが困難になったり、作品制作や受付のボランティアサポーターである「こえび隊」の募集に影響が生じることが予想される。 会場となる離島等においては、地元に対して新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を丁寧に説明し、理解を得た上で、作品制作や来場者を迎える体制づくりを構築する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で引き続き、ART SETOUCHIとして一部作品の公開を継続する。	継続	文化芸術振興課



第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
20	高松国際ピアノコンクール	音楽芸術の振興と国際的な文化交流を図ることにより、地域に根ざした文化芸術の創造と振興に寄与することを目的として、民間主導により行われる国際的なピアノコンクールの開催を支援します。 第3回高松国際ピアノコンクール(平成25年度開催)の翌年度からは、同コンクール組織委員会の実施事業以外に、本市と組織委員会が連携した取組として、学校訪問リサイタル、コンクール審査員による演奏会や公開レッスンを実施し、今後は、令和4年の第45回開催を契機に本市の音楽文化の交流の場を広げるとともに、その発展を目指していきます。	4.8.17	決算額: 1,000千円 予算額: 27,860千円	大会参加人数/ 観客数	平成18年 306人/11,250人 平成22年 243人/7,550人 平成26年 239人/7,180人 平成30年 332人/10,230人	—	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて事業の実施方法を検討し、事業継続に努める。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施内容、感染症拡大防止策等を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、第6回高松国際ピアノコンクール開催の機運を醸成するため、推進事業を実施する。	継続	文化芸術振興課
21	かがわ山なみ芸術祭	芸術を軸とした地域の活性化を図るため、県内在住のアーティストと国内外の優れたアーティストが連携し、現代美術作品の展示やワークショップを実施します。地域の歴史文化や風土を作品制作における重要なテーマとし、そこで見ることができないアートイベントを目指します。	4.17	決算額: 0千円 予算額: 1,900千円	来場者数	2016 ■来場者数(高松市エリア) 瓦町FLAG(プレイベント) 700人 塩江町 2,826人 2019 ■会期(塩江エリア) 9月27日(金)~10月20日(日) ■会場(塩江エリア) 塩江美術館・モモの広場、大滝山県民いこいの森、大屋敷地区、西照神社、ホテルセカンドステージ ■来場者数(塩江エリア) 962人 ※塩江美術館のみ	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、かがわ・山なみ芸術祭2022を開催する。瀬戸内国際芸術祭2022県内周遊事業としても位置づける。	アーティスト及び地域住民と十分協議し、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた適切な対策を検討する。	実施なし(瀬戸芸開催年度のみ)	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向性	主管課 (関係部署)
22	まちなかパフォーマンス事業 ・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES ・サンポートオータムジャム ・高松フラストリート ・街クラシックin高松 ・たかまつ大道芸術フェスタ	市民の文化芸術への関心を高めるとともに、まちかどに芸術のあふれる「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、サンポート高松や商店街等で、アートに関連した各種イベントを実施します。 今後は、音楽やパフォーマンス等を通して、市民や観光客が、中心市街地において文化芸術を気軽に楽しめる空間づくりを推進します。	4.17	決算額: 6,025千円 予算額: 3,500千円 ※決算額のうち3,025千円は新型コロナウイルスに関する臨時交付金	【TAKAMATSU MUSIC BLUE FES】観客数 (平成25年、26年は街角に音楽をフェスティバル)	平成25年度 6,850人 平成26年度 7,610人 平成27年度 20,200人 平成28年度 26,370人 平成29年度 26,370人 令和元年度 33,000人 令和2年度 204人 ※入場制限(生配信観覧 1,591人) 令和3年度 4,415人 ※入場制限(生配信観覧 5,126人)	531.5%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課
				決算額: 1,000千円 予算額: 1,000千円	【サンポートオータムジャム】観客数 (平成25年度、26年度はワールドダンスフェスティバル)	平成25年度 3,100人 平成26年度 650人 平成27年度 3,800人 平成28年度 1,500人 平成29年度 1,600人 平成30年度 1,600人 令和元年度 1,700人 令和2年度 173人 ※入場制限(生配信観覧 2,648人) 令和3年度 616人 ※入場制限(生配信観覧 1,680人)	81.4%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課
				決算額: 500千円 予算額: 500千円	【高松フラストリート】観客数	平成25年度 6,800人 平成26年度 7,800人 平成27年度 8,600人 平成28年度 9,500人 平成29年度 10,500人 平成30年度 12,600人 令和元年度 14,200人 令和2年度 753人 ※入場制限 1,672人 ※入場制限	222.0%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課
				決算額: 500千円 予算額: 500千円	【街クラシックin高松】観客数	平成25年度 6,470人 平成26年度 1,630人 平成27年度 3,300人 平成28年度 1,670人 平成29年度 1,020人 平成30年度 1,650人 令和元年度 2,400人 令和2年度 中止 令和3年度 269人	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向性	主管課 (関係部署)
			4.17	決算額: 6,974千円 予算額: 4,000千円 ※決算額のうち2,974千円は新型コロナウイルスに関する臨時交付金	【たかまつ大道芸フェスタ】観客数	平成25年度 27,600人 平成26年度 38,000人 平成27年度 46,600人 平成28年度 54,500人 平成29年度 62,250人 平成30年度 66,060人 令和元年度 73,470人 令和2年度 567人 ※入場制限(生配信観覧 13,400人) 令和3年度 5,101人 ※入場制限(生配信観覧 7,336人)	89.0%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容、感染症拡大防止策等を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課
23	アーティスト・イン・レジデンス事業	(高松アーティスト・イン・レジデンス) 高松市内の活用されていない資源(例えば、空き家、廃校、商店街の空き店舗等)を活用し、国内外から招へいたアーティストが一定期間滞在し、地域とのつながりの中で作品制作を行うことで、地域との協働が生まれ、地域に賑わいをもたらすとともに、アートの普及や若手アーティスト等の育成にもつなげます。	4.17	決算額: 0千円 予算額: 0千円	応募件数・実施事業数	平成27年度 応募17件、実施3件 平成28年度 応募40件、実施3件 平成29年度 応募15件、実施3件 平成30年度 応募27件、実施2件 令和元年度 実施なし 令和2年度 応募25件、実施3件 令和3年度 中止	—	瀬戸内国際芸術祭開催年度であるため、従来通り実施しない。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、3事業程度を公募により実施予定。	継続	文化芸術振興課
		(大島アーティスト・イン・レジデンス) 県内外の小学生から中学生までの子どもたちが参加し、大島に宿泊するサマーキャンプを実施します。入所者との交流によりハンセン病の歴史を学び、歴史的遺産の伝承に資するとともに、大島の自然、瀬戸内国際芸術祭の作品鑑賞、アーティストによるワークショップ体験を通じて、大島の魅力を伝え、将来にわたる島の振興を図ります。	4.17	決算額: 2,000千円 予算額: 2,000千円	参加児童・生徒数	平成27年度 32人 平成28年度 22人 平成29年度 25人 平成30年度 21人 令和元年度 25人 令和2年度 3人 令和3年度 7人	233.3%	小中学生が参加し、3日間、大島に宿泊しながら、ワークショップを行い、ウェブ上で公開しているラジオ番組「大島アワー」を制作する。「大島アワー」には、大島青松園入所者のインタビューやワークショップで作成した楽器の演奏等を盛り込み発信し、多くの人に大島や大島での活動について知ってもらい、来訪のきっかけを創出する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの実施とする等、今後においても大島青松園入所者等の意向に十分配慮した実施形態としていく。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、3日間大島に宿泊しながら、ワークショップを行い、ウェブ上で公開しているラジオ番組「大島アワー」を制作する。「大島アワー」には、大島青松園入所者のインタビューやワークショップで作成した楽器の演奏等を盛り込み発信し、多くの人に大島や大島での活動について知ってもらい、来訪のきっかけを創出する。	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向性	主管課 (関係部署)
24	高松市文化芸術ホール改修事業	高松市文化芸術ホールは平成30年度で開館から14年が経過し、音響・照明・舞台設備の更新が必要となるとともに、ホールのつり天井は既存不適格建築物として改修等の対応が必要になっています。そのため、更新・改修に係る工法・範囲等の調査検討の上、効率的な更新改修計画に基づき実施設計し、休館期間を設けて全面的に更新・改修を行います。	4.17	決算額: 0千円 予算額: 455,523千円	設備更新・建物改修に係る進捗率	平成30年度 6% 令和元年度 20% 令和2年度 23% 令和3年度 30%	130.4%	設計に基づき、令和4、5年度の2か年度にわたり、改修工事を実施する。	改修工事を実施する工事関係者の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を徹底し、改修工事を施工する。	改修工事を実施する工事関係者の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を徹底し、改修工事を施工する。令和4年度に引き続いて設計に基づき、令和6年4月のリニューアルオープンを目指して改修工事を実施する。	継続	文化芸術振興課
25	高松城跡等整備事業	城下町高松のシンボルとなる特徴的な城郭を後世まで守り伝えるため、「史跡高松城跡保存活用計画」に基づき、石垣や披雲閣など各施設の保存修理や桜御門の復元に努める。また、天守の再現に向けて資料調査を行う。	4	決算額: 252,574千円 予算額: 244,761千円	玉藻公園入園者数	平成25年度 178,776人 平成26年度 194,026人 平成27年度 218,264人 平成28年度 238,146人 平成29年度 228,385人 平成30年度 202,161人 令和元年度 229,439人 令和2年度 82,966人 令和3年度 79,634人	96.0%	月見櫓改修工事を実施するとともに、披雲閣(大書院)耐震補強工事の実施設計を作成する。桜御門復元整備工事しゅん工に伴う内堀仮設ヤード撤去工事を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により、来園者数の回復がどこまで進むか懸念される。また、史跡内で実施する工事等への影響も懸念される。 なお、入園に当たっては、手指消毒や検温など適切な感染症対策を継続する。	月見櫓改修工事を始め、披雲閣(大書院)耐震補強工事、桜御門復元整備工事しゅん工に伴う内堀仮設ヤード撤去工事を実施する。	継続	文化財課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
26	文化財保存活用 推進事業	市内指定等文化財の適切な保存を行うとともに、市民に公開する良好な環境を提供する。	4	決算額: 18,861千円 予算額: 19,369千円			—	引き続き、市内指定等文化財の適切な保存を行うとともに、適切な感染症対策を講じながら、市民に公開する良好な環境を提供する。	史跡地の除草等や、文化財管理及び保存伝承活動に要する経費の一部助成については、例年どおり実施する。 文化財学習・体験講座については、適切な感染症対策を講じながら、開催時期・内容を検討する。	引き続き、市内指定等文化財の適切な保存を行うとともに、適切な感染症対策を講じながら、市民に公開する良好な環境を提供する。	継続	文化財課
27	障がい者スポーツ 推進事業	障がい者スポーツの推進を図るため、本市スポーツ施設における環境整備や障がい者スポーツ大会の誘致等を通じて、障がい者スポーツ人口の増大と競技力の向上に取り組めます。	3,4,10,17	決算額: 8,463千円 予算額: 1,440千円			—	令和4年11月25日～27日までの間、国内3チームによる車いすラグビー合宿を国分寺B&G海洋センターで開催。27日には、パラリンピアン池透暢氏、羽賀理之氏、倉橋香衣氏等を迎え、車いすラグビー体験教室を開催。 令和5年2月3日～6日の間、日本パラ陸上競技連盟育成強化及びU-STAR合宿を屋島レクザムフィールドで開催予定。5日には、パラリンピアン鈴木徹氏を迎え、市内子どもを対象に義足体験教室を開催し、パラリンピアンとの交流を図る。 このほか、公益財団法人日本パラスポーツ協会の「障害者スポーツ実施環境の構築支援事業」の採択を受け、障がいのある方が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめるよう、パラスポーツ用品を購入し、環境整備に努めた。	事前募集により、参加者の把握を行い、健康チェック表の提出など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施する。	日本パラ陸上競技連盟の強化合宿を開催予定。	継続	スポーツ振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
28	トリムの祭典	昭和54年度から、毎年体育の日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントとして開催しています。公園内では、ニュースポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガや太極拳等のステージイベント、御当地キャラとの触れ合いなど、また、公園外では、ウォーキング、サイクリング、ちびっ子鬼ヶ島探検などを実施しています。	1.2.3.4.5. 6.10.11.1 7	決算額： 0千円 予算額：2,000千円	参加者数	平成25年度 5,000人 平成26年度 中止 平成27年度 6,000人 平成28年度 6,000人 平成29年度 6,000人 平成30年度 6,000人 令和元年度 6,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	—	10月10日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントを開催予定。公園内では、バラスポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガやフォークダンス等のステージイベントなど、公園外では、ウォーキング、サイクリングなどを実施。	参加者の把握を行い、健康チェック表の提出など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施する。	10月9日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントを開催予定。公園内では、バラスポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガやフォークダンス等のステージイベントなど、公園外では、ウォーキング、サイクリング、ちびっ子鬼ヶ島探検などを実施する予定。	継続	スポーツ振興課
29	高松市美術館サポートショップ事業	会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができる。また、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入し、商店街周辺のにぎわいづくりにつなげていく。	4	決算額： 0千円 予算額： 78千円	令和2年度まで【参加店舗数】 令和3年度～【協力依頼先】	平成24年度 39店 平成25年度 53店 平成26年度 69店 平成27年度 119店 平成28年度 147店 平成29年度 145店 平成30年度 134店 平成31年度 125店 令和2年度 126店 令和3年度 約740店(協力依頼先)	587.3%	引き続き商店街組合と協力し、更なる美術館を含めた商店街周辺のにぎわいづくりにつなげていく。	令和4年度も感染状況などを注視しながら、可能な範囲で実施していく。	引き続き商店街組合と協力し、更なる美術館を含めた商店街周辺のにぎわいづくりにつなげていく。	継続	美術館美術課
30	市民活動センター運営事業	市民と行政が共に考え、共に活動する協働の場として設置している市民活動センターを管理運営し、センター事業を実施します。	11	決算額：19,692千円 予算額：20,326千円	【市民活動センター】総利用者数	平成26年度 3,218人 平成27年度 15,429人 平成28年度 19,752人 平成29年度 23,977人 平成30年度 21,311人 令和元年度 23,043人 令和2年度 10,263人 令和3年度 13,156人	128.2%	中間支援組織としての機能を充実し、市民活動団体等への活動の更なる支援強化を図るとともに、市民活動団体等と地域との連携強化のためマッチングに積極的に取組む。センター職員のスキルアップを行い、市民に気持ちよく利用してもらえるよう親しみやすい窓口づくりに努め、相談事業の強化・充実を図る。	新型コロナウイルス感染拡大期においては、講座の中止、会議室の使用制限等により対応する。また、会議室等貸館用公衆無線LANが利用できることを周知するなどし、会議室の利用促進を推進する。	中間支援組織としての機能を充実し、市民活動団体等への活動の更なる支援強化を図るとともに、市民活動団体等と地域との連携強化のためマッチングに積極的に取り組む。また、センター職員のスキルアップを行い、市民に気持ちよく利用してもらえるよう親しみやすい窓口づくりに努め、相談事業の強化・充実を図る。	継続	男女共同参画・協働推進課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
31	障がい者アートの リンク事業	芸術活動を通じて障がい者の感性・想像力を育み、障がい者の社会参加の促進を図るため、希望する障害福祉サービス事業所等へ芸術家を派遣し、創造性の芽を持つ障がい者とアーティストが長期継続的に関わることで生まれる新しい概念をかたちにする創作活動を支援します。	3.4	決算額：10,000千円 予算額：10,000千円	派遣先事業所	平成26年度 6か所 平成27年度 8か所 平成28年度 9か所 平成29年度 10か所 平成30年度 12か所 令和元年度 13か所 令和2年度 14か所 令和3年度 15か所	107.1%	引き続き、芸術活動を通じて障がい者の感性・想像力を育み、障がい者の社会参加の促進を図る。	新型コロナウイルス感染拡大期においては、対面型の活動方式から、オンラインによる活動への変更等を行う。 報告展覧会については、感染防止策を講じた上で開催する(予定)。	引き続き、芸術活動を通じて障がい者の感性・想像力を育み、障がい者の社会参加の促進を図る。	継続	障がい福祉課
32	サンポート高松ト ライアスロン	サンポートエリアの海と本市中心市街地を会場に、日本全国・世界から幅広い選手たちが参加できる国内屈指の都市型トライアスロン大会「サンポート高松トライアスロン～瀬戸内国際体育祭～」を共催し、参加者及び市民の心と体の健康づくりを推進するとともに、本市及びサンポート高松のPR等、活力あるまちづくりの促進を図ります。 また、平成29年度からは、オリンピックの選考対象に位置づけられている国際大会「アジアカップ」を同時開催し、市民がトップレベルのスポーツを間近に観戦する機会を提供するとともに、スポーツを通じた国際交流にも取り組んでいます。	1.2,3,4,5, 6,10,11,1 7	決算額： 2,149千円 予算額： 15,000千円	参加選手数/ ボランティアス タッフ数/観客数	平成25年度 458人/749人/4,500人 平成26年度 514人/676人/12,000人 平成27年度 479人/703人/13,500人 平成28年度 584人/640人/14,800人 平成29年度 687人/1,016人/38,500人 平成30年度 中止 令和元年度 666人/1,016人/44,200人 令和2年度 中止 令和3年度 中止 令和4年度 351人/886人/—(無観客)	—	新県立体育館建設に伴い、サンポートエリアにおける競技コース並びに会場レイアウトを一部変更し、エイジ(一般)競技大会を無観客開催で7月3日(日)に実施。 市民ボランティアがスマートフォンで競技会場を撮影し、ライブ映像を配信したほか、大会前日には、参加選手のおもてなし企画として、丸亀町商店街ドーム広場でのウェルカムドリンクサービスや34の協力店での各種サービスキャンペーンを実施した。	新型コロナウイルス対策委員会が中心となり、保健所等とも連携し、ボランティア説明会は各企業から最小人数で実施したほか、前日の選手受付時に、抗原検査を実施するなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じ実施した。	新県立体育館建設に伴い、サンポートエリアにおける競技コース並びに会場レイアウトを一部変更し、エイジ(一般)競技大会を9月3日(日)に実施予定。	継続	スポーツ振興課
33	高松市・南昌市友 好都市提携30周 年記念事業	令和2年度に南昌市(中華人民共和国)との友好都市提携30周年を迎えることから、国際交流活動を更に活性化させ、市民の国際感覚の醸成を図るため、記念事業を実施する。	17	決算額： 0千円 予算額： 617千円	記念事業参加者 数	令和2年度 中止 令和3年度 中止 令和4年度 中止	—	公式訪問団の相互派遣を検討	新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見極めながら、公式訪問団派遣の可否や実施時期等を検討する。	公式訪問団の相互派遣を検討	継続	観光交流課



第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【交流プロジェクト】 地域を通して世界につながる交流へ

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
34	中国・四国パラ陸上競技大会	平成29年4月の屋島レクザムフィールドのオープンに伴い、7月に同会場にて四国で初開催し、今後、令和元年、令和2年の2年連続で開催します。 また、大会前日にはパラリンピアンとの交流事業、義足体験授業を実施するほか、大会当日も障がい者スポーツ体験を実施し、障がい者スポーツの推進に努めます。	3.4,10,17	決算額: 一 千円 予算額: 二 千円	大会参加人数	平成29年度 112人 平成30年度 未開催 令和元年度 105人 令和2年度 中止	—	実施予定なし	影響なし	実施予定なし	継続	スポーツ振興課
35	高松市・セント・ピーターズバーグ市姉妹都市提携60周年記念事業	令和3年度にセント・ピーターズバーグ市(アメリカ合衆国)との姉妹都市提携60周年を迎えることから、国際交流活動を更に活性化させ、市民の国際感覚の醸成を図るため、記念事業を実施する。	17	決算額: 694千円 予算額: 3225千円	記念事業参加者数	令和3年度 195人 令和4年度 中止	—	公式訪問団の相互派遣を検討	新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見極めながら、公式訪問団派遣の可否や実施時期等を検討する。	公式訪問団の相互派遣を検討	継続	観光交流課